

第113期中間株主通信

(2025年1月1日～2025年6月30日)



東亜合成株式会社
証券コード 4045

株主の皆様へ



代表取締役社長COO
小淵 秀範

POINT

- 拡販活動、価格改定やコストダウンに注力したものの、基幹化学品をはじめとした多くの製品で販売数量が減少したことにより、減収減益。
- 製造設備増強、研究開発力強化や海外拠点の設立など、今後の成長に寄与する投資を着実に実行。
- 中間配当金は2.5円増配の1株当たり32.5円。年間配当金は5円増配の1株当たり65円を予定。2025年8月1日までに自己株式を70億円取得。

Q 当中間連結会計期間の概況についてお聞かせください。

A 当中間連結会計期間（2025年1月1日から2025年6月30日まで）の世界経済は、米国トランプ政権の関税政策により、景気の減速懸念が高まりました。また、ウクライナ紛争の長期化や中東情勢の緊迫化による地政学リスクにより、先行きの不確実性が拡大しました。そのような中、米国は堅調を維持し、中国はデフレ圧力が継続し、欧州は低成長となりました。また、わが国経済は、雇用環境の改善、インバウンド需要の回復等により、緩やかに景気は持ち直しましたが、物価高によって勢いが弱まりました。

このような状況下、当社グループは、拡販活動やコストダウンに注力するとともに、製造設備増強、研究開発力強化、海外拠点の設立など、今後の成長に寄与する投資を進めてまいりました。その結果、売上高は803億4千4百万円（前年同期比1.5%減収）、営業利益は70億1千8百万円（前年同期比4.2%減益）、経常利益は74億9千7百万円（前年同期比14.4%減益）、親会社株主に帰属する中間純利益は57億1千5百万円（前年同期比18.8%減益）となりました。

Q 通期の見通しについてお聞かせください。

A 当中間連結会計期間の業績は、拡販活動、価格改定、コストダウンなどに注力しましたものの、基幹化学品をはじめとした多くの製品で販売数量減となっております。第3四半期以降の経済状況は、米国の関税政策の中身や継続する地政学リスクの動向など、先行きは不透明で予測困難な状況が続く見込みですが、市況、原燃料価格などの動向に注意を払いなが

ら柔軟に対応し、事業拡大と収益確保に努めてまいります。このような状況の下、需要の回復が見込める分野や販売が好調な開発製品もありますが、2025年12月期通期の売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、2025年2月13日に発表しました連結業績予想を下回ると予想いたします。

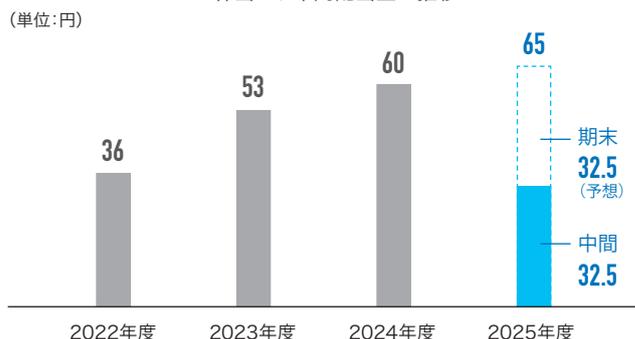
Q 株主還元についてお聞かせください。

A 株主還元につきましては、連結配当性向30%程度・連結総還元性向50%程度を目途に安定的な配当の継続と連結総還元性向の向上を図ることを基本的方針としております。これに加え、PBR改善に向けた取組みの一環として、2023年から2025年の中期経営計画期間は、期間総還元性向100%を目途に株主還元を行い、資本効率の向上を図っております。

当中間期は前年同期比減収減益となりましたが、資本効率向上の観点に加え、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、中間配当金は前年同期比2円50銭増配の1株当たり32円50銭といたします。期末配当金につきましても、前年同期比2円50銭増配の1株当たり32円50銭とし、年間配当金は前年同期比5円増配の1株当たり65円とする予定です。また、株主還元を一層

充実させるため、増配だけではなく、2025年8月1日までに自己株式を70億円取得しました。

1株当たり年間配当金の推移



● 予想数値には、本決算発表日現在入手可能な情報に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、本誌数値と異なる可能性があります。

セグメント別概況

セグメント別売上高・営業利益

(2025年度中間期)

	売上高(百万円)	営業利益(百万円)
■ 基幹化学品事業	36,180	4,681
■ ポリマー・オリゴマー事業	17,538	1,266
■ 接着材料事業	6,761	263
■ 高機能材料事業	5,013	459
■ 樹脂加工製品事業	13,733	1,172
■ その他・調整額	1,117	△ 823
合計	80,344	7,018

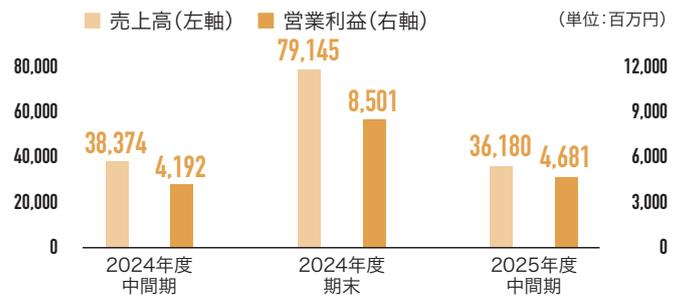
セグメント別売上高比率



■ 基幹化学品事業	45.0%
■ ポリマー・オリゴマー事業	21.8%
■ 接着材料事業	8.4%
■ 高機能材料事業	6.3%
■ 樹脂加工製品事業	17.1%
■ その他の事業	1.4%

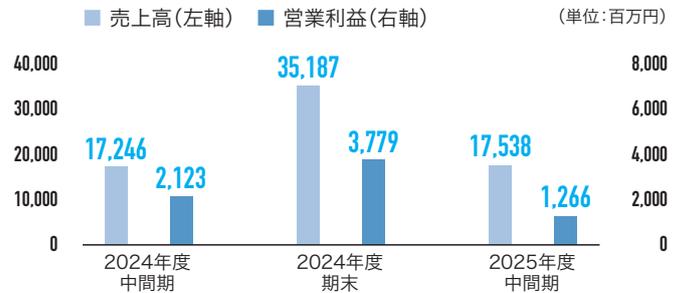
■ 基幹化学品事業

電解製品は、昨年の増販分が減少し、減収となりました。アクリルモノマーは、一部製品の販売数量が減少し、減収となりました。工業用ガスは、製造会社のトラブルによる稼働停止により販売数量が減少し、減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は361億8千万円(前年同期比5.7%減収)となりました。営業利益は、一般的に販売数量が減少したものの固定費の減少により、46億8千1百万円(前年同期比1.7%増益)となりました。



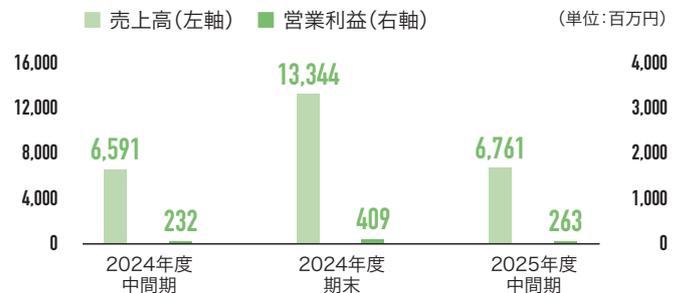
■ ポリマー・オリゴマー事業

アクリルポリマーは、販売数量が減少し、減収となりました。アクリルオリゴマーは、販売価格改定により、増収となりました。高分子凝集剤は、海外向けの販売数量が増加し、増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は175億3千8百万円(前年同期比1.7%増収)となりました。営業利益は、原材料価格の上昇等により、12億6千6百万円(前年同期比40.4%減益)となりました。



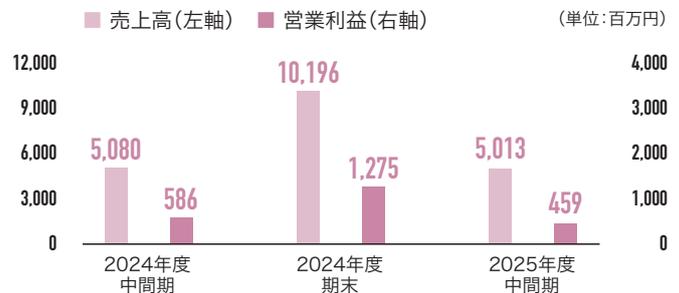
■ 接着材料事業

家庭用は、日本および米国での販売数量の増加と国内での販売価格改定により、増収となりました。機能性接着剤は、車載用部品向けやスマートフォン用部品向けの販売数量が増加し、増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は67億6千1百万円(前年同期比2.6%増収)となりました。営業利益は、販売数量の増加により、2億6千3百万円(前年同期比13.4%増益)となりました。



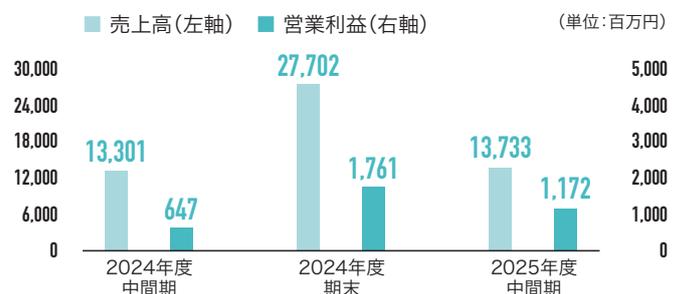
■ 高機能材料事業

高純度無機化学品は、AI向けの旺盛な需要増加がありましたが、半導体市場全体の回復が遅れたことにより販売数量が減少し、減収となりました。無機機能材料は、無機系消臭剤の販売数量が増加し、増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は50億1千3百万円(前年同期比1.3%減収)となりました。営業利益は、高純度無機化学品の販売数量の減少により、4億5千9百万円(前年同期比21.7%減益)となりました。



■ 樹脂加工製品事業

環境インフラシステム(旧管工機材製品)は、原材料価格等の上昇に応じた販売価格改定により、増収となりました。ライフサポートは、介護製品の需要低迷により販売数量が減少し、減収となりました。エコマテリアル(旧エラストマーコンパウンド)は、タイの拠点での販売数量の増加により、増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は137億3千3百万円(前年同期比3.2%増収)となりました。営業利益は、環境インフラシステムでのインフラ老朽化対策向け製品の増販とライフサポートの価格改定が寄与し、11億7千2百万円(前年同期比81.0%増益)となりました。



■ 連結財務諸表(要旨)

貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間末 (2025年6月30日)	増減額
流動資産	122,750	109,339	△ 13,410
固定資産	155,270	160,498	5,228
資産合計	278,020	269,837	△ 8,182
流動負債	48,753	40,030	△ 8,723
固定負債	15,598	19,164	3,566
負債合計	64,352	59,194	△ 5,158
純資産	213,668	210,643	△ 3,024
負債純資産合計	278,020	269,837	△ 8,182

損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月 1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月 1日 至 2025年6月30日)	増減額
売上高	81,571	80,344	△ 1,227
売上総利益	22,723	22,974	251
販売費及び一般管理費	15,400	15,955	555
営業利益	7,323	7,018	△ 304
経常利益	8,758	7,497	△ 1,260
特別損益	892	379	△ 513
親会社株主に帰属する中間純利益	7,041	5,715	△ 1,325

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

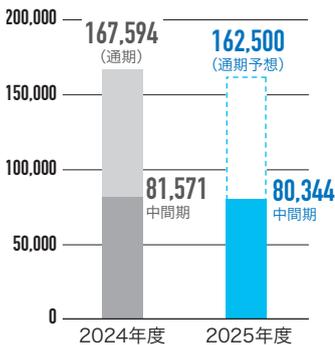
	前中間連結会計期間 (自 2024年1月 1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月 1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,255	16,678
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,062	△ 17,313
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,990	△ 8,712
現金及び現金同等物の中間期末残高	43,675	30,534

■ 連結財務ハイライト

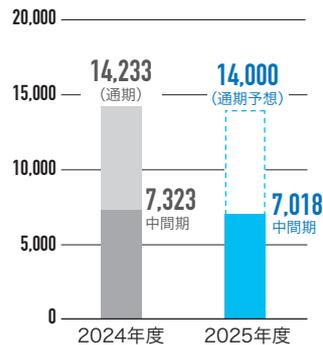
2025年度中間期

(単位:百万円)

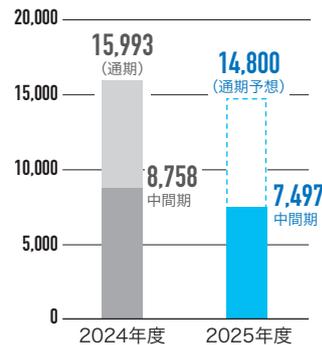
■ 売上高



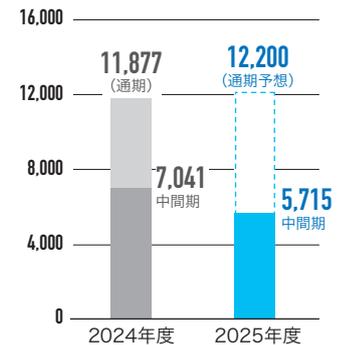
■ 営業利益



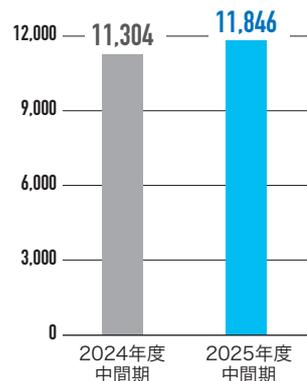
■ 経常利益



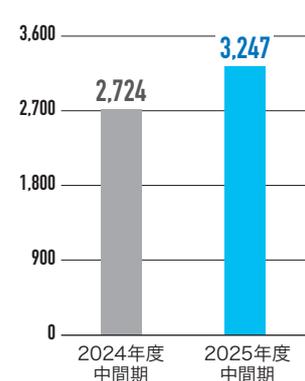
■ 親会社株主に帰属する当期純利益



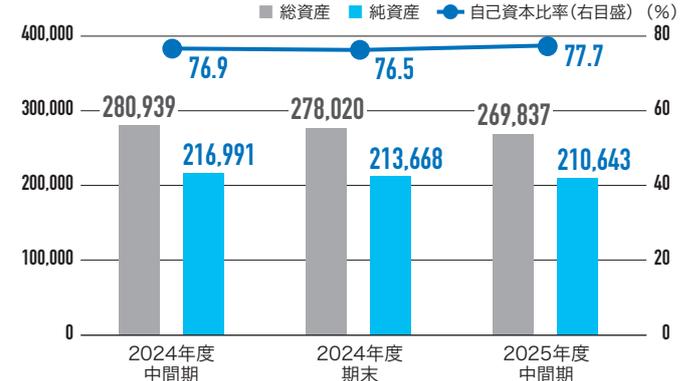
■ 設備投資額



■ 研究開発費



■ 総資産・純資産・自己資本比率



ナノ医療イノベーションセンターとsiRNA医薬の共同研究開始

2025年5月、当社はトリプルネガティブ乳がんに対する新たな治療用siRNA医薬創製に関する共同研究を公益財団法人川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセンターと開始いたしました。トリプルネガティブ乳がんは最も進行性で予後も悪く、既存の治療法が効かない難治性がんであり、siRNA医薬は特定の遺伝子の働きを抑えることで高い標的特異性と持続的な効果を発揮する画期的な治療法です。RNAi(RNA干渉)に基づく当社のsiRNAデザイン技術は、疾患の原因遺伝子の異常発現を効率的に制御するもので、難治性がんなどの難病治療のほか、新種ウイルスによるパンデミック時の迅速な感染拡大防止などにも対応できると考えております。本共同研究の進展を通じ、未充足医療に応えられるsiRNA医薬の創製を迅速かつ的確に進めることで、未来の医療の発展に寄与していきます。



米国における瞬間接着剤事業の単独運営開始

当社の米国連結子会社Toagosei America Inc. (以下「TUS」)は、これまでNewell Brands Inc. (以下「NB」)グループとの合併会社Elmer's & Toagosei Co.を通じて、瞬間接着剤「Krazy Glue」の販売を行ってまいりました。当社は、2025年6月30日開催の当社取締役会において、TUSがNBグループの持分を取得し、合併契約を解消することを決議しました。米国における瞬間接着剤市場の競争環境が厳しさを増す中で、当社グループ単独で、より柔軟かつ迅速な事業運営を強化する体制を構築することとしました。これにより、当社グループは、製販一体体制のメリットを生かし、「Krazy Glue」事業のさらなる強化と販売シェアの拡大を目指します。



当社Webサイトのご案内

■ 情報充実の当社Webサイトをぜひご覧ください

■ 株式、決算関連についての詳しい情報は「株主・投資家情報」でご覧いただけます。

東亜合成Webサイトトップページ



<https://www.toagosei.co.jp/>

東亜合成

検索



株主・投資家情報ページ



- 1 決算短信や有価証券報告書などIRに関する資料は「IR資料室」
<https://www.toagosei.co.jp/ir/library/index.html>
- 2 業績や財務状況の推移などのデータは「財務・業績情報」
<https://www.toagosei.co.jp/ir/finance/index.html>
- 3 株式に関する情報は「株主・株式情報」
https://www.toagosei.co.jp/ir/stock_information/index.html

■ 株主メモ

- 事業年度……………毎年1月1日から12月31日まで
- 定時株主総会……………毎年3月に開催
- 基準日……………定時株主総会・期末配当 毎年12月31日
中間配当 毎年 6月30日
- 公告の方法……………電子公告の方法により行います。
ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞(東京)に掲載します。
公告掲載URL (<https://www.toagosei.co.jp/>)
- 株主名簿管理人……………東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関……………東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先……………〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) **0120-782-031** (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

■ ご案内

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、特別口座で管理されている株式に関するお手続きについては、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

各種手続用紙のご請求について(特別口座の株主様)

以下の手続用紙のご請求については、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社のインターネットで24時間お受けしております。

■ ホームページアドレス

<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

- ・ 口座振替申請書 ・ 単元未満株式買取請求書(特別口座用)
- ・ 配当金振込指定書(特別口座用) ・ 変更届(住所・氏名・届出印等)

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

「配当金計算書」について

配当金のお支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。